



せいしよ しょ
聖書

マタイ 13・1～9、8～23

テー マ

み言葉が実を結ぶために

あんしょうせい いく
暗唱聖句

ほかの種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。

マタイ 13・8

もく ひょう
目標

み言葉を聞いて悟り、忍耐深く

守って、実を結ぶ者となる。

7月1日（日）

せいしよ
聖書

マタイ 13・8

ほかの種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍にもなった。 8節

あなたは何か植物を育てたことがありますか？それがやがて立派に育つととてもうれしいね！神様も、あなたの心に「み言葉」という種を植えて下さいました。それが立派に育つのを心から楽しみにしていて下さるでしょうね！

どうすれば立派に育ち、沢山の実がなるの？それは、あなたの「心」が「良い地」となることです。神様のお言葉を素直に聞いて受け入れ、信じ、その通りに行うんだね！

いの
祈り

天のお父様、み言葉を聞き、信じて、行える心にして下さい。

7月2日（月）

せいしよ
聖書

マタイ 13・19

せい いく
聖句

だれでも御国の言を聞いて悟らないならば、悪い者がきて、その人の心にまかれたものを奪いとって行く。 19節

教会楽しい！大好き！でも、お話の時間はどうか？！せっかくお話を聞いたのに、何にも心に残っていないなんてことはない？悪魔はいつも、あなたが神様を信じようとする心を邪魔したり、奪っていかうと狙っているよ。どうしよう！神様のみ言葉の種をちゃんと心に植えることができるように、お祈りして心の準備をしようね。そして、心の耳で、お話を聞こうね。

いの
祈り

天のお父様、教会で聞いたお話を悪魔にとられることがありませんように。あなたのお話を心の耳で聞けるように助けてください。

7月3日（火）

せいしよ
聖書

マタイ 13・20～21

せい いく
聖句

御言のために困難や迫害が起こってくると、すぐつまずいてしまう。 21節

神様のこと、イエス様のこと、信じてるよ！！でも、学校のお友達や大人の人にいじめられたり、悪口を言われたらやめちゃうかも…なんて人はいませんか？大切なのは神様から頂いたみ言葉の種は奥の深いところに植えないといけないということです。そうでないと、何かあった時、いやになった時に信じることを投げ出してしまふのです。神様を信じることをあきらめないで、信じ続ける皆さんでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、あなたをただ信じるだけでなく、信じ続ける心をしてください。何かあった時、つらい時にもみ言葉を投げ出さない心をしてください。

7月4日（水）



マタイ 13・22

いばらの中にまかれたものは、御言を聞くが、世の心づかいと富の惑わしとが御言をふさぐので、実を結ばなくなる人のことである。 22節

テレビを見たり、お友達とあそんだり、習い事をする方が、神様の言葉を聞くことよりも大切になっていませんか？自分のやりたいことがどんなことよりも大切になっていませんか？

せっかく神様を信じていても、神様の声を聞くことを忘れたら、せっかく心に植えたはずの種にお世話をしないとおんなじ！一週間の一番はじめにまず神様を礼拝しよう！教会に行くことを投げ出さないようにね！

いの 祈り 天のお父様、何かをする前に、み言葉をきくことをまず一番にできますように。毎週の教会学校も大切にできるよう助けてください。

7月5日（木）



マタイ 13・9

耳のある者は聞くがよい。 9節

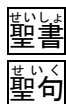
神様のみ言葉の種があなたの心で芽を出し、沢山の良い実を実らせるにはどうすればよいでしょうか？イエス様は「聞く」ことが大切だと教えてくれたよ。

神様のみ言葉をただ聞くだけではなく、それを心からわかって、神様の教えを毎日の生活の中で行っていく、それが「聞く」ということの意味です。

毎日、きっと色んなことがあるでしょう。楽しい時、うれしい時、つらい時、悩む時、その度に、神様のみ言葉に「聞いて」みてください！そして、神様と一緒に毎日を過ごしていきましょうね。

いの 祈り 天のお父様、どんなことがあっても、み言葉を心から聞いて、それを行っていけるようにお守りください。

7月6日（金）



I コリント 3・6

成長させて下さるのは、神である。 6節

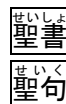
あなたが神様の話を聞くとき、お話をする先生は、どんな気持ちで神様のことをお話しているか知っていますか？それはね、みんなの心を、神様ご自身が育ててくださるように信じてお祈りし、話しているのです。

あなたたちを育てられるのが、先生ではなく、神様にしかできないことを知っているからです。

どうか神様が、色々なことの中で、あなたの心に植えられたみ言葉の種を育ててくださることを体験してくださいね！

いの 祈り 天のお父様、毎日の色々なことの中で、あなただけがわたしのみ言葉の種を育てて下さる方であることを感じさせてください。

7月7日（土）



マタイ 13・31~32

天国は、一粒のからし種のようなものである。 31節

からし種って知っていますか？1ミリくらいしかない小さな小さな種だけど、成長して3メートルくらいになることもあるって！！

あなたの信仰も最初は「神様を信じる」という、小さな、誰も味方してくれないような一歩から始まったでしょう。でも、その信仰が、神様と一緒に生きているだけで大きく大きく成長し、沢山の人があなたの周りに集まってくるほどになるんですよ。

神様の国もそんな風に進んでいくんだって！

いの 祈り 天のお父様、私の信仰はまだとても小さいですが、からし種のように大きく大きく成長できますように助けてください。



せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 2・1～10

テーマ

きき なか しんこう
危機の中での信仰

あんしょうせい
暗唱聖句

しんこう
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。

ヘブル 11・23

もく ひょう
目標

きき なか しんこう
危機の中で信仰によって神の助けを求める。

7月8日（日）

せいしよ
聖書

へブル 11・23

しんこう
信仰によって、モーセの生れたとき、両親は、三か月のあいだ彼を隠した。
23節

モーセの時代のお話！エジプトの王様は国の中でどんどん増えるイスラエルの人々の力が怖くなり、イスラエルの男のあかちゃんを殺すように命じました。でも、あかちゃんモーセのお母さんは、神様の下さった特別な命を見て、この子に生きていてほしい、いや、この子は生きていく子だ！と信じたのです。だから、見つかったら何をされるかわからなかったけど、恐ろしい王様の命令も恐れませんでした。そして三か月の間、あかちゃんを守り育てたのです。神様に勇気づけられた信仰って強いんです！

いの
祈り 天のお父様、どんな危険な時にも、勇気づけられた恐れない信仰をください。

7月9日（月）

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 2・1～2

せいしよ
聖句

おんな
女はみごもって、男の子を産んだ
2節

この時代、イスラエルの女性が男の子をうむということは、その男の子が必ず死ななければならぬということでした。王様の命令に、何の抵抗もできない、力のない、弱く小さなあかちゃん。けれども、神様はあかちゃんモーセを見捨てませんでした。やがて、このあかちゃんがエジプトの王様にも勝てる力を神様から与えられる大人になっていくのを、いったいだれが想像できるでしょうか！救おうと思う者を救う神様の救いのご計画は、私達の思いをはるかに超えているんだね！！

いの
祈り 天のお父様、モーセを守ってくださった神様の救いの力を私も信じます。

7月10日（火）

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 2・3～4

せいしよ
聖句

子はその中に入れ、これをナイル川の岸の葦の中においた。
3節

だれにも頼れないとき、自分の力でもどうしようもない時、あなたはどうするかな？あのかちゃんモーセのお母さんも、自分の力だけではもう赤ちゃんを守ってあげられない時が来てしまいました。そして、お母さんは赤ちゃんを見捨ててではなく、赤ちゃんの運命を神様にお任せすることを選んだのです。川岸の葦という葦の茂みに、丈夫なカゴに入れた赤ちゃんを、そっと浮かべたのでした。赤ちゃんのお姉さんも神様がどうなさるか、見守っていましたよ。

あなたは、運命を神様にお任せできるでしょうか？

いの
祈り 天のお父様、どうしようもない時、わたしの運命をお任せします。

7月11日（水）

聖書
聖句

出エジプト2・5～6

ときにパロの娘が身を洗おうと、
川に降りてきた。 5節

あかちゃんが置かれた川岸というのは、なんとエジプト王様の娘（お姫様）が水浴びをする場所でした。あかちゃんが見つかったら殺されるのが当たり前です！どうしよう！

でも神様は、お姫様に優しい、憐みの心を与えられたので、あかちゃんを見つけたお姫様はカゴの中のあかちゃんを「かわいそう」だと思い、守ってあげようと考えました。

そして、あかちゃんは、あの恐ろしい殺害命令を出したはずのエジプトの王様の娘の子どもとなって守られていくのです。不思議！！
神様は人の心を変えて下さるお方なんだね！

いの祈り 天のお父様、私たちが危ない時、人の心を変えてまで不思議なことをしてくださることを信じます。

7月12日（木）

聖書
聖句

出エジプト2・7～8

少女は行ってその子の母を呼んで
きた。 8節

お姫様があかちゃんを見つけるのを遠くから見ていたあかちゃんのお姉さん。ただ見ているだけだったらお姫様があかちゃんを連れて行ってしまいます。もう二度と自分の弟には会えないかもしれません。

でも大丈夫！神様はこんな時、神様を信じる人にはとびきりの勇氣と知恵、恐れぬ心を与えることを、あなたは知っていますか？

あかちゃんのお姉さんは思い切ってお姫様の所に行き「あかちゃんにお乳をあげられる人をお見知りませんか？」と言いました。そして、あかちゃんのお母さんを連れてきたのです！！

いの祈り 天のお父様、私にも、ここという時にはとびきりの勇氣と知恵、恐れぬ心を与えてください。

7月13日（金）

聖書
聖句

出エジプト2・9

女はその子を引き取って、これに
乳を与えた。 9節

みんなは、神様に自分を守ってもらうことは、自分の力で自分を守るより難しいと思いませんか？自分のことは自分で！と思っていま

せんか？
だけど、あなたを造り、あなたのこと全部知っておられる神様に、あなたをまるごとお任せするなら、神様は決して悪いようになさらないだけではなく、憐み、祝福してくださるんです！
あのあかちゃんのお母さんが、神様にお任せしたとき、お乳を与える乳母としてもう一度赤ちゃんと一緒に過ごせるようになったようにね。

いの祈り 天のお父様、自分の力でなんとかするのではなく、わたしをまるごとお任せします。あなたの憐みと祝福をわたしにもください。

7月14日（土）

聖書
聖句

出エジプト2・10

彼女はその名をモーセと名づけて
言った、「水の中からわたしが引き
出したからです」。 10節

モーセという名前は、「引き出す」という意味なんだって。

最初は殺されるはずのあかちゃんだったけれど、神様によって命を引き（助け）出され、エジプトのお姫様に水の中から引き出されたあかちゃんにぴったりの名前だね！でもそれだけでなく、モーセを通して、エジプトで奴隷になって苦しめられていたイスラエルを引き出し（助け出し）たい、という神様のご計画が、このお名前前に込められているんですね！

いの祈り 天のお父様、苦しんでいる人々を助けるために与えてくださるご計画をありがとうございます。



せいしよ しょ
聖書

しゅつ 出エジプト3・1～12

テ マ

りんざい しゅ はけん
臨在の主による派遣

あんしょうせいいく
暗唱聖句

わたしは必ずあなたと共にいる。これが、わたしのあなたをつかわしたしるしである。

しゅつ 出エジプト3・12

もく ひょう
目標

わたし はたら つか
私たちを働きに遣わされる神が、私たちと共にいることを信じる。

7月15日(日)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト3・12

せいいく
聖句

わたしは必ずあなたと共にいる。

12節

イスラエルの奴隷を助けようとエジプト人を殺してしまったモーセ！王様に命を狙われて、ミデヤンというところに逃げ、ひっそりと羊飼いになって暮らしました。

今はもう若くもなく、なんでもできる王子様でもない、心には苦い思い出を隠した80歳のおじいちゃん。きつとつらかっただろうろね。

神様はモーセを見捨てたのでしょうか？

いいえ、神様はモーセを覚えていてくださり、

「あなたはわたしのために働くんだよ。わたしが一緒にいるから大丈夫だよ」と言ってくださったのです！

いの
祈り

てん とうさま
天のお父様、いつも私達を見捨てないで一緒にいてくださりありがとうございます。

7月16日(月)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト3・1～2

せいいく
聖句

しばは火に燃えているのに、そのしばはなくならなかった。
2節

しばは、細い木の枝のことだって。燃やせばすぐに燃え尽きてしまうはずの小枝がずっと燃えているなんて不思議です！

神様は、細くて弱い木の枝だって燃え尽きない火で燃やし続けることができるお方なんだね！

王子様から身分の低い羊飼いになったおじいさんのモーセはどう思っただろうね。

うまくいってほしかったのに失敗したりして、自分のことをちっぽけな小枝みたいに思う時に思い出してください！神様があなたと一緒になら、あなたの心も燃え尽きない火で燃えるんだよ！

いの
祈り

てん とうさま
天のお父様、どんな時も私と一緒にいて、心に燃え続ける力をください。

7月17日(火)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト3・5

せいいく
聖句

あし ちからくつを脱ぎなさい。あなたが立っている場所は聖なる地だからである。
5節

モーセは、「くつを脱ぐ」ことで、神様の前では自分が小さく、罪深く、弱い存在であることを表わしました。

でも、私たちは、そんなに聖くて大きな神様が、いつも私たちを愛し、守り、一緒にいてくださって、私たちの名前を友達のように呼んでくれることを喜んで、感謝しているかな？

私たちも、神様の前で、「心のくつを脱いで」、小さなわたしを愛してくれる神様に感謝しようね。

いの
祈り

てん とうさま
天のお父様、あなたの前で、私たちは小さな存在です。そんな私たちを愛して、共にいてくださることに、心から感謝します。

7月18日(水)

聖書
聖句

出エジプト3・7

わたしは彼らの苦しみを
知っている。 7節

あなたや、あなたのお友達で、辛く悲しい
思いをしている人はいませんか？
どうしようもなく辛いのに誰にもわかってもらえない
と思っ
てはいませんか？

エジプトで奴隷になって何年もの間、苦
しいでいたイスラエルの人たちの辛さ、叫び、苦
しみを知っていたのと同じように、神様は、あな
たの苦しみを
知っていて、声を聞いてくれるお
方なんだよ。それは、神様があなたと一緒
にいるからであり、あなたが、神様から本物の
慰めをもらうようになるためです！

いの
祈り 天のお父様、私たちの苦しいこと
や悲しいことをわかってくださり、そんな
時にも共にいて慰めてくださるから
ありがとうございます。

7月19日(木)

聖書
聖句

出エジプト3・8~9

いまイスラエルの人々の叫びがわ
たしに届いた。 9節

神様が人々の心からの叫びを聞くとき！！
神様の手がその人たちのために動くことを
知っていますか？どんな状況も、どんな人も、
神様のご計画にはさからえません。
神様は、イスラエルの人々を神様の与えよう
とする素晴らしいところに導き出そうと計画
されました。そのご計画を人々が体験し、本当
の神様を心から信じ、従うことができるために
ね。神様に叫ぼう！そして、あなたにも、神様は
素晴らしいご計画を立てておられることを知っ
てくださいね！

いの
祈り 天のお父様、イスラエルの人たちのために
素晴らしいご計画をたてられたように、私にも
神様のご計画を体験させてください。

7月20日(金)

聖書
聖句

出エジプト3・10

さあ、わたしは、あなたをパロ
につかわして、わたしの民、イス
ラエルの人々をエジプトから導
きださせよう。 10節

使命って知ってる？神様が一人ひとりにく
れる大切な仕事のこと！

誰かが神様のことを知って、信じるためには、先
に神様を信じた私たちが
必要だって、神様は思っ
ているし、私たちが信
頼してくれるんだ。だから、エジプトにいた奴隷
のイスラエルを助けるために、神様はモーセに
使命を与えたの。

あなたにも、神様は、お友達や家族を救うた
めに、神様のし
ょうとされるお仕事のために、使命
を用意されているよ！神様のために使命が
あるなんてすごいことだね！！

いの
祈り 天のお父様、私たちにも神様の
ために使命があることをありがとうございます。

7月21日(土)

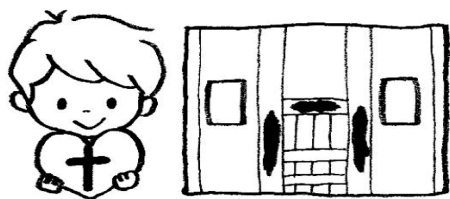
聖書
聖句

出エジプト3・11

わたしは、いったい何者でし
ょう。 11節

もし、あなたが、強く、かつよくて、頭
がよくて、100パーセント完璧な人間だっ
たら、あなたに神様は必要かな？神様に頼らな
くてもなんでもできちゃうでしょうね。でも、あ
なたが弱くて、情けなくて、小さな存在になる
とき、あなたが0パーセントの人間になるとき、
神様はあなたのために、100パーセントの力
となってくれるよ。そして、神様が
用いたいと願われる人、それは、神様の力にと
ころん頼る人、自分が小さく、弱
いことをちゃんと知っている人
なのです。だから私たちが弱い時、私
たちのために強くなってくれる神様を喜
ぼうね！

いの
祈り 天のお父様、私たちは弱いですが、私
たちのために100パーセントになってくださ
る神様の力を喜び、お従います。



聖書

出エジプト 12・1～14

テーマ

過ぎ越しの恵み

暗唱聖句

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。

出エジプト 12・13

目標

キリストの血により罪赦され、神の裁きから守られる者となる。

7月22日（日）

聖書

出エジプト 12・13

聖句

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。 13節

イスラエルの人々を救うため、神様はエジプトに9つの災いを起こしました。でもエジプトの王様はイスラエル人を去らせてくれません。とうとう、神様は10番目の災いに、エジプト中の家で、初めて生まれた男の子は人も家畜も滅ぼすと決めました。

じゃあ、神様を信じて恐れるエジプトの中の人々はどうなる？ 人々は家の2本の門柱ともいに羊の血をぬり、その血のしるしをみて、神様はその家で初めての男の子を滅ぼさなかったのです！ 神様がエジプトにいるイスラエル人を救う方法を用意されたのです！

いのちの祈り 天のお父様、神様を信じ、恐れる人に救いの方法を用意してくださりありがとうございます。

7月23日（月）

聖書

出エジプト 12・1～2

聖句

この月をあなたがたの初めの月とし、これを年の正月としなさい。2節

イスラエル人がエジプトを出る時が来ました！ 神様は、この月をイスラエル人にとって「歴史が変わる日」「新しいスタートの日」と決められたの。

奴隷にされていたエジプト、本当の神様ではない沢山の神々が拝まれていたエジプトを抜けだし、本当の神様に従って歩き始めるすばらしい時、新しい人生がやって来るのです！

私たちも、今までの古い生き方を変え、罪から抜け出そう！ そして、イエス様を信じて心にお迎えするとき、新しい命をいただいて、神様に従う素晴らしいスタートができるんだよ！

いのちの祈り 天のお父様、今までの自分の生き方から抜け出して、私も新しいスタートを迎えます。イエス様を信じて生きていきます。

7月24日（火）

聖書

出エジプト 12・3～5

聖句

子羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。 5節

どうしてイスラエル人が羊の血を柱ともいに塗って救われたかわかりますか？

それは、まだ罪を知らない羊の血が、イスラエルの人々の罪の身代わりに死んだことを知らせてくれたからなんです。

罪のない羊が死んだから、その家に住んでいる人はもう神様に赦され、罰を受けなくてよい、ということなんだね。

十字架で血を流されたイエス様を見てごらん！ あなたの罪の身代わりに、あなたがもう罰を受けなくてよくなるために、血を流して死んでくださった罪のない羊、それはイエス様なんだよ！

いのちの祈り 天のお父様、私のかわりに血を流されたイエス様をありがとうございます。

7月25日（水）

聖書
聖句

出エジプト 12・6~7

その血を取り、子羊を食する
家の入り口の二つの柱と、かもいに
それを塗らなければならない。 7節

神様は、イスラエルの人々を救うために1つの方法を用意されましたが、もし、イスラエルの人々が神様の方法に従わなかったら？そう、従った人だけが救われる、というのが神様のお約束だったの！

神様は、私達を愛して、誰も滅んで欲しくないと思って下さいます。そして、イエス様というたった1つの救いの方法を用意して下さいました。滅びではなく、救われるためには私達の罪の身代わりに死なれたイエス様の十字架の血を信じること。方法はただ1つなんです！

祈り 天のお父様、イエス様の十字架だけが私を救うたった1つの方法であることを信じます。

7月26日（木）

聖書
聖句

出エジプト 12・8~10

火に焼いて、その頭を足と内臓と共に食べなければならない。9節

どうしてまるごと羊を食べるの？それはね、自分の身代わりに裁かれた羊の命をまるごと受け入れるためなんです！食べることは受け入れること、受け入れることは信じることなんです！

あなたは、教会に行き、聖書のお話を聞き、イエス様があなたの罪の身代わりに十字架にかかって死んだことを聞いているでしょう？でも、耳で聞いて、頭ではわかっているけど、心の中にイエス様を受け入れたでしょうか？

聞くよりもっと大事なことは受け入れることなんですよ！受け入れるとき、イエス様の命があなたを造り、生かしてくれるのです！

祈り 天のお父様、わたしもイエス様の命を受け入れて、生きていきます。

7月27日（金）

聖書
聖句

出エジプト 12・8~10

朝まで残るものは火で焼きつくさなければならない 10節

あなたは、お友達の身代わりになって大人のひとから罰を受けたことがありますか？

罰って燃える炎のように怖いものです！

でも、身代わりの羊が焼き尽くされたみたいに、あなたの罪を背負い、あなたのために、とことん罰を受けて下さったお方がいるんです。

十字架にかかる、ということは重い罪を背負った人が死ぬための罰です。でも、イエス様は神様のひとり子で、罪がないのに、自分の命を捨ててまで、あなたの罪を背負って、あなたがかかるはずの十字架に、かわりにかかられたんですよ！だからあなたが赦されるのです！

祈り 天のお父様、命を投げ出してまで、わたしの代わりにとことん罰を受けて下さったイエス様の十字架をありがとうございます。

7月28日（土）

聖書
聖句

出エジプト 12・13

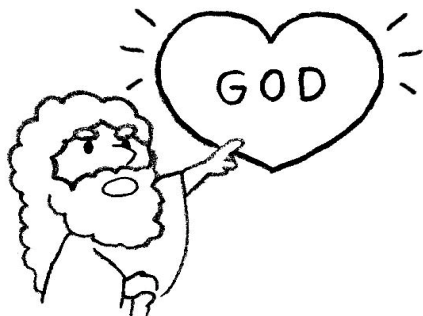
その血は…あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう。 13節

罪がある人となない人、どうすればわかりますか？また、どうすれば天国に行けますか？

いい子だから？家族がクリスチャンだから？あなたが教会に行っているから？

それは、私達が決めるのではなく、神様だけが決めることなの。子羊の血のしるしを見て、神様が過ぎ越されたように、あなたの心の中に、十字架で死なれたイエス様の血のしるしがあるかどうかを、神様は見つめて、決めるんです。十字架は、救いの完全な約束だよ！信じますか？

祈り 天のお父様、わたしもイエス様の十字架を信じます。そして、救いの約束をいただいて生きていきます。



せいしよ しょ
聖 書

しゅつ 出エジプト 14・10～29

テ ー マ

き き なか すく
危機の中での救い

あんしやうせい
暗唱聖句

かたく たち、しゅがきよう、あ
なたがたのためになされる 救
を見なさい。

しゅつ 出エジプト 14・13

もく ひやう
目 標

き き なか かみ まも たす
危機の中で神の守りと助け
を経験する者となる。

7 月 29 日 (日)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 14・13

せいいく
聖句

かたく たち、しゅがきよう、あなた
がたのためになされる 救 を見なさい。

13 節

やっとエジプトを抜出したイスラエルの人
たち。でも、エジプトの王様が心を変えたので、
エジプトの恐い軍隊が追いかけてきました！！
あなたなら、どんなふうに思うでしょう？
とても恐くて、どうしたらいいかわからなくな
るでしょう？イスラエルの人たちもそうでした。
あまりにも恐すぎて、大パニックです！

そんな人たちに神様が気づいてほしいこと、
それは、そんな時こそ落ちついて、あのエジ
プトから人々を救い出した神様が、絶対今度も助
けてくれる！ということなのです。

いの
祈り

てんのお父様、何度だってあなたが助けてく
れることをどんな時も信じます！

7 月 30 日 (月)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 14・14

せいいく
聖句

しゅ 主があなたがたのために戦われる
から、あなたがたは黙していなさい。14 節

あなたは、何か困った時、あぶないことが自分
に起こった時、どうしますか？ひとりで考
えたり、なんとかしようとしたりしますか？
でもね、神様を信じている人は一度、何かをし
ようとするのをストップしてみて！

だってね、あなたを愛してくれる神様が、あ
なたをいつも心配し、あなたを助けたいと思っ
ているから！

そして、心を静かにして神様にお祈りする
とき、神様の大きな手が動いて、あなたの力に
なり、あなたの知恵になってくれるんだよ！

なんて力強いお約束だろうね！

いの
祈り

てんのお父様、どんな時も、あなたの前で心
を静かにして、お祈りします。どうか、わた
しの力になり、わたしを助けてください。

7 月 31 日 (火)

せいしよ
聖書

しゅつ 出エジプト 14・14

せいいく
聖句

なぜわたしたちをエジプトから
導き出して、こんなにするのですか。

11 節

「ああなったらいいな」と思っていたのに、全然
その通りにならなかったとき！一人でいじけ
たり、ぶつぶつ文句を言っている人はいませんか。
イスラエルの人たちもエジプトの軍隊に追いか
けられた時「こんなことなら前の方がもっと良
かった！」と文句を言っていました。でも、
神様は文句ばかりの人たちも見放さないで、守
り、救ってくれるお方です。神様が悪いよう
にはしないし、助けてくれることを信じるなら、
もうぶつぶつ言ったりいじけたりしないよね！

いの
祈り

てんのお父様、自分の思い通りにいくことば
かり考えてごめんなさい。あなたがきっと助
けてくださると信じていきます。

8月1日（水）

【聖書】

出エジプト 14・19～21

【聖句】

主は夜もすがら強い東風をもって
海を退かせ、海を陸地とされ、水は
分れた。 21節

イスラエルの人たちがエジプトの軍隊に追いかけられた時、海の中を歩いたり走ったりして逃げたのを知っているかな？ええっ？そんなことできるはずないでしょ？いえいえ。神様がものすごい風を起こして海を二つに分かれさせたから！それも夜の間にずっとだって！

神様は、神様を信じた人を、なんでもできる神様の力で、昼の間も夜の間に休むことなく助けてくださるんです！あなたは、神様のなんでもできる力を信じますか？

【いのちの祈り】

天のお父様、海を2つに分かれさせてまで人々を助けられたあなたのなんでもできる力を信じます。

8月2日（木）

【聖書】

出エジプト 14・22～25

【聖句】

イスラエルの人々は海の中のか
わいた地を行ったが、水は彼らの右
と左に、かきとなった。 22節

イスラエルの人たちがエジプト軍から逃げるには、海の中を通っていくしかありませんでした。でも、せっかく神様が海を二つにしてくれていても、海が途中で元通りになっておぼれたらどうしよう？なんて考えていたらきっとエジプト軍に捕まっちゃったでしょうね。

神様があなたを助けるために、あなたに道を開いてくださるとき、あなたのすべきことはただ一つ！神様の道を信じてまっすぐ、ただ前に進む！ということなのです。

【いのちの祈り】

天のお父様、私を助けるために道を開いてくれることを信じます。ただ、まっすぐに進んでいけるよう助けてください。

8月3日（金）

【聖書】

出エジプト 14・26～29

【聖句】

主はエジプトびとを海の中に投げ込まれた。 27節

神様がイスラエルの人たちを救うために開かれた海の道と同じ道を行っただけなのに、エジプトの軍隊は皆海に投げ込まれ、死んでしまいました。イスラエルを追いかけようように見えるけれど、本当はイスラエルを守られる神様の力に逆らおうとしていたエジプト！

同じ人間でも、神様を信じ、全部をお任せして道を進むのと、神様に逆らって、自分の力で神様に勝とうとするのは反対のことですね。神様の力に逆らって勝てる人なんてどこにもいないのです！！

【いのちの祈り】

天のお父様、あなたの力に勝てる人はどこにもいないことを教えてくださいありがとうございます。ただあなただけを頼ります。

8月4日（土）

【聖書】

第Ⅱコリント 4・7～10

【聖句】

わたしたちは、四方から患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。 8節

あなたは、イエスを信じて「永遠の命」をもらいましたか？昔のクリスチャンは、イエスのことを伝えただけで命を狙われる危険がありました。それでも命がけでイエスを信じて伝えてくれたのは、この世界で苦しいことや悲しいことがあって、どの道も閉じていると思えるような時も、天国への道だけは開いていることを知っていたから！天国にいける永遠の命を持っているなら、辛いことも乗り越えていける力が湧きあがってくるよ！

【いのちの祈り】

天のお父様、永遠の命を持つとき、どんなことも乗り越える力がもらえることをありがとうございます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

民数記13・25～14・10

信仰による前進

主がわたしたちと共におられますから、彼らを恐れてはなりません。 民数記14・9

目標

共におられる神に信頼して、神に従い進む者となる。

8月5日（日）

聖書
聖句

民数記13・25～14・10

主がわたしたちと共におられますから、彼らを恐れてはなりません。 14章9節

神様が「与える」と約束してくださった地を12人のリーダーたちが探って帰ってきました。その意見は10対2と二つに分かれたのです。10人は神様の約束よりも、目の前に見てきた巨人たちを恐れて「やめよう」と言いました。探って帰ったうちの二人、ヨシュアとカレブは、「大丈夫！神様が共にいて、きっと約束のように与えてくださるのだから、巨人を恐れなくて！」と言います。もしあなたがそこにいたらどうでしょう？

いの祈り 天のお父様、どこまでもどんな時でも共にいてくださるあなたを信じて、お約束を信じて進んで行きたいです。

8月6日（月）

聖書
聖句

民数記13・25～29

わたしたちはあなたが、つかわした地へ行きました。そこはまことに乳と蜜の流れている地です。27節

神様の約束の地は、本当に豊かなすばらしい所だったのです。何しろ、その地のくだもので、ぶどう・ひふさを、棒をもってふたりの人がかついだというのですから（23）！ 一体、一粒の大きさはどれほどだったのでしょうか！ 口の中にほうばりきれないくらい？ 食べてみたいね、そんなぶどう！ ところが、そんないい地だとちゃんとその目でたしかめてきたのに、他のものも見てしまいました。大きな町々と強い民でした。

いの祈り 天のお父様、あなたの約束の言葉にしっかりと心の目を注いで、それ以外のものに心奪われないよう助けてください。

8月7日（火）

聖書
聖句

民数記13・30

わたしたちはすぐにのぼって、攻め取りましょう。わたしたちは必ず勝つことができます。 30節

カレブは、民の心がザワつくのがわかったのでしょう。リーダーのモーセの前で、「サア、サア、皆さん、静かに」と、民をしずめて言いました。きょうのみ言葉です。「すぐに」のぼりましょう。「攻め取りましょう」「必ず勝つことができます」と！ 何と、大胆な信仰に満ちた、神様への信頼いっぱい言葉でしょう。私だったら？ 他のお友だちみんなの考えとちがっていたらどう言うでしょうね。

いの祈り 天のお父様、たとい他のみんなとちがっていてもあなたを信じて従っていく方をいつも選んで進めますように。

8月8日(水)



民数記13・31～14・3

そこで、会衆はみな声をあげて叫び、民はその夜、泣き明かした。
14章1節

そんな力に満ちたカレブの言葉を、打ち消すようにして、一緒に探りに行った10人の人たちは声をそろえて言いました、「ムリだ！彼らは強すぎる」と。おまけにその地を悪く言いふらし、ついには、「自分たちは巨人の前にはいながらのように思われたし、きっと彼らにもそう見えたにちがいない」と言いました。いながら、見たことある？食べたことある？！それを聞いて、皆が声をあげて叫び一晩中泣き明かしたというのですからあきれてしまいます。

いのり 天のお父様、信じない心というのは、人を本当に弱虫、泣き虫にしてしまうということがよくわかりました。

8月9日(木)



民数記14・4～5

モーセとアロンはイスラエルの人々の全会衆の前でひれふした。
5節

人々はますますひどいことを言い出しました。「わたしたちはひとりのかしらを立てて、エジプトに帰ろう」。何ですって？あのエジプトですか？あんなにも苦しめられ、さんざん悩まされ、いためつづけられてきたエジプトにですか？と聞き返したくなりますよね。モーセとアロンはその人々の前でひれふしたとあります。それは、ふたりが、目には見えなくてもそこにおられた神様のみ前におそれおののきひれふしたのです。

いのり 天のお父様、モーセとアロンは、思わず民のためにとりなし祈ったにちがいありません。不信仰からお守りください。

8月10日(金)



民数記14・6～9

もし、主が良しとされるならば、わたしたちをその地に導いて行って、それをわたしたちにくださるでしょう。
8節

モーセとアロンのふたりと同じ心と信仰を持っていたのが、カレブとヨシュアでした。このふたりも民の不信仰のひどさに服を引き裂くほど心を痛めて言いました。「探った地は非常に良い地です。主がきっと与えてくださいます。主にそむいてはいけません。主がわたしたちと共にいてくださるのですから、巨人たちを恐れなくてください」と。このふたりの目はしっかりと約束してくださった神様に向いていたのです。

いのり 天のお父様、何を見るのかはとても大切です。目に見えないあなたとあなたのお約束をいつも見つめていきます。

8月11日(土)



民数記14・10

ところが会衆はみな石で彼らをうち殺そうとした。
10節

そういう信仰の人、カレブとヨシュアに向かって、人々はどうしたでしょう。何と！みんな石でもって、彼らをうち殺そうとしたのです！カレブさんとヨシュアさん、あぶない！「そのとき、主の栄光が、会見の幕屋からイスラエルのすべての人に現れた」のです。神様は、神様をおそれ、うやまい、信じ従う人々の味方です。信じなかった10人の人々や、この時20歳以上の人々は荒野で死んでしまうのです。

いのり 天のお父様、あなたを信じないこと、あなたを信じる人々を苦しめることがどんな恐ろしいことになるか覚えさせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 8・5～13

模範的信仰

ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。

マタイ 8・8

目標

謙遜でありつつ、権威あるキリストへの大胆な信仰を持って生きる。

8月12日(日)

聖書
聖句

マタイ 8・5～13

ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります。 8節

ローマの百卒長さんが、中風という痛い病気で苦しむ僕のことをイエス様に伝えました。「わたしが行ってなおしてあげよう」と言われるイエス様に、この人は言います。「いえいえおそれ多いです。ただ、お言葉をだけください。そうすれば僕はなおります。わたしのもとにいる兵卒に『行け』と言えば行くし、『こい』と言えばきます。だから、お言葉だけ下さい」と。イエス様はこのローマ人の信仰にとっても感心されました！

いのちの祈り 天のお父様、わたしもあなたの力あるお言葉を大胆に信じる信仰でイエス様に感心してもらえますように。

8月13日(月)

聖書
聖句

マタイ 8・5～7

主よ、わたしの僕が中風でひどく苦しんで、家に寝ています。 6節

あなたも痛くて、苦しい病気になったことがありますか？この百卒長さん（百人の兵隊の隊長さん）はとても心のやさしい人でしたね。自分も今までに痛い苦しい病気になったことがあって、苦しんで寝ている僕のことを心配でたまらなかったのでしょうか。それを聞かれたイエス様も、とても心のやさしいお方でしたから、すぐに、「わたしが行ってなおしてあげよう」と言われます。やさしい心の持ち主でいたいね。

いのちの祈り 天のお父様、苦しんだり痛い思いをする人々のために、私もやさしい心をもってお祈りやお助けができますように！

8月14日(火)

聖書
聖句

マタイ 8・8

主よ、わたしの屋根の下にあなたをお入れする資格は、わたしにはございません。 8節

百人もの兵隊の隊長さんなんだから、えらそうにしているのかなと思うと、この人はとてもへりくだった人でした。イエス様はユダヤ人だし、たくさんのすばらしいみわざをしてこられたお方だし、とてもとても私のような者の屋根の下にお入れすることなどできません。でも、「ただ、お言葉を下さい。そうすれば僕はなおります」とは、何と大胆な、イエス様の力あるお言葉への信仰ではないですか！この信仰は、どこから？！

いのちの祈り 天のお父様、心のへりくだった人の美しさと共に、大胆な信仰のみごとさ！私もそんな人にならせてほしいです。

8月15日（水）

聖書

マタイ 8・9

聖句

また、僕に『これをせよ』と言え
ば、してくれるのです。 9節

なぜ、「ただ、お言葉を下さい」と百卒長さんが言ったか、よくわかりますね。この人も、千卒長（千人の兵隊の隊長）の部下ではあっても、この人の下にも命令を聞いてくれる兵隊がいたわけです。「行け」と言えば行ってくれるし、「来い」と言えば来るし、「これをせよ」と言えばしてくれるわけです。だから、もっと力あるイエス様のお言葉さえいただければ、きっと僕はなおるに決まっています、というみごとな信仰でした。

いの祈り 天のお父様、イエス様のお言葉には、すばらしい力があることを私も信じています。ますます信じていきます。

8月16日（木）

聖書

マタイ 8・10

聖句

よく聞きなさい。イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない。 10節

「ほお〜っ！」って、イエス様はこの百卒長さんの言うことを聞かれて、『非常に感心され』とありますから、すごーく、超感心されたのでしたよ！ イエス様をうならせるほどの信仰ってすごいですね。「イスラエル人の中にも、これほどの信仰を見たことがない」と、ついできたユダヤ人たちにハッキリと言われました。私たち日本人もローマ人と同じ「異邦人」です。とても励まされますね。偉大な信仰者めざして！

いの祈り 天のお父様、何があなたやイエス様をお喜ばせするかと言えば、『信仰』ということがよくわかりました。

8月17日（金）

聖書

マタイ 8・11～12

聖句

この国の子らは外のやみに追い出され、そこで泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。 12節

イエス様は、「なお、あなたがたに言うが」と、まわりのついてきた人々、つまりユダヤ人たちに強烈なことを言われました。ユダヤ人たちは、私たちの祖先はアブラハムだ、イサクだ、ヤコブだと誇って言っても、今、イエス様を信じる信仰からはずれていると、やがて天国の宴会の席からはじき出されてやみに追い出され、泣き叫んだり歯がみすると！教会にずっと来ているだけじゃなく信じなきゃいけないのだ！

いの祈り 天のお父様、「信じない」ということは軽いことではないことがよくわかります。あなたを心からおそれ信じます。

8月18日（土）

聖書

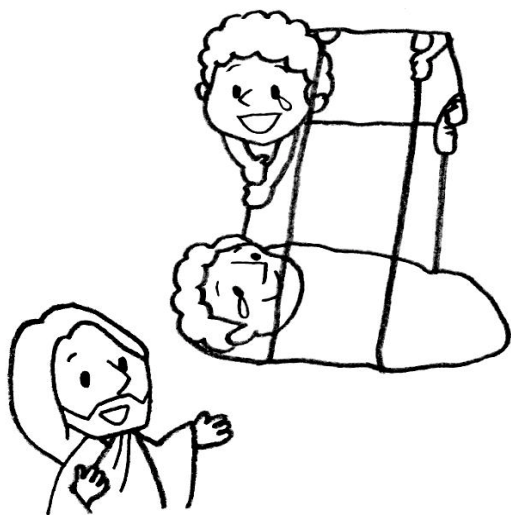
マタイ 8・13

聖句

それからイエスは百卒長に「行け、あなたの信じたとおりになるように」と言われた。 13節

そして、イエス様はふり返って、この百卒長に「お言葉」をかけられました。「行け、あなたの信じたとおりになるように」と。「すると、ちょうどその時に、僕はいやされた」とあります。信仰の力はスゴイ!! イエス様がさわってくださらなくても、遠い所からでも、まさに、時間、空間を超えてと言うけれども、ピッタリその時に、この僕はいやされました。彼は「エ？ どうして？」と思ったかな？あとで知ったでしょう。

いの祈り 天のお父様、自分のためだけでなく、まわりの人の幸せのために働く信仰が与えられることはとても大切です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 9・1～8

罪を赦すお方

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ。

マタイ 9・2

目標

あらゆる祝福に先だって、罪の赦しの恵みを受け取る。

8月19日（日）

聖書
聖句

マタイ 9・1～8

子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ。 2節

中風という病気を知っていますか？手や足が痛くてふるえる病気です。友だちはその中風で苦しんでいる人を床の上に寝かせたままイエス様のみもとに運んできました。イエス様はその友人たちの信仰を見て、中風の人にむかって言われました、「子よ、しっかりしなさい。あなたの罪はゆるされたのだ」と！えっ!? 罪がゆるされたですって!?と、本人もみんなも思ったでしょう。病気より罪がゆるされる方が大事なのです。

いのちの祈り 天のお父様、病気になった時、もしかしてあなたにそむくような罪を犯していないか考えてみることにします。

8月20日（月）

聖書
聖句

マタイ 9・1～8

人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために。 6節

「そんな一っ!?罪をゆるせるのは神しかいないはずだ、この人は神を汚している」と、律法学者たちは心の中でぶつぶつ言ったのです。それをイエス様はちゃんと見抜いておられました。そして今度は、中風の人に、「起きよ、床を取り上げて家に帰れ」と言われました。するとどうでしょう！彼は起きあがって家に帰って行ったのです。病気をいやす力も罪をゆるす力もみんなイエス様は持っておられるお方です。

いのちの祈り 天のお父様、病気がなおることよりも、罪がゆるされて、滅びから救われるということが大切だとわかります。

8月21日（火）

聖書
聖句

イザヤ 43・22～28

わたしこそ、わたし自身のためにあなたのとがを消す者である。わたしは、あなたの罪を心にとめない。 25節

神様は、どんなにかわたしたちの罪やとがをゆるしたい、きよめたいと願っていらっしゃるかが旧約聖書の中にもいくつも記されています。ご自分の愛する民イスラエルのために、いえ、それは神様自身のためだと言われます。「とがを消す」黒板消しで、サーッとぬぐうと、何が書かれていたのかわからなくなります。そのように私のとがやあやまちを消し去ってくださり、罪を心にとめないと言ってください。

いのちの祈り 天のお父様、罪ほど心を苦しめるものはないのに、それを消し去り、心にとめないと言ってください感謝します。

8月22日（水）

聖書
聖句

イザヤ 44・21～23

わたしはあなたのとがを雲のように吹き払い、あなたの罪を霧のように消した。 22節

青い空に浮かぶ白い雲、時には灰色の雲や、黒っぽい雲。ずっとそこにいるように見えるのもあれば、急ぎ足で飛んでいってしまうものもあります。そんな雲のように、神様が私のとがを吹き払って、どこに行ったのか見えなくしてくださる！霧はめったに見えないかもしれませんが、もや一とかかる霧がサーッと晴れてなくなってしまうように、私の罪もサーッとかき消してどこに行ったかわからなくしてくださいます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが私のとがを雲のように吹き払い、罪を霧のように消して晴れやかな心にしてくださり感謝です。

8月23日（木）

聖書
聖句

エレミヤ 31・31～34

わたしは彼らの不義をゆるし、もはやその罪を思わない。 34節

犯してしまった罪を忘れさせないで何度も思い出させては、私たちを苦しめるのは悪魔です。「あれ、やっただろう！」って、訴えてくるのです。でも神様はちがいます。「わたしはゆるしますよ、そして、もうその罪については思わないことにしています」って！神様が、心にとめなかったり、忘れたり、思わないなんてできるのでしょうか？できるのです。神様がご自分でそうおっしゃっておられるのですから！

いのちの祈り 天のお父様、罪を罰することのできるたつたひとりのあなたがゆるしてください、忘れてくださるとは恵みです。

8月24日（金）

聖書
聖句

I ヨハネ 1・5～7

御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである。 7節

わたしたちのどうしようもない罪がゆるされるたった一つのわけがここにあります。罪を犯す人は必ず死ななければならないのです。昔は羊や山羊の上に自分の罪をかぶせて、その動物を殺して血を流しました。今、私たちのためにイエス様が十字架で死に、血を流してくださいました。一つの罪も犯されなかったイエス様の清い血が流されて、私の身代わりと信じるなら、すべての罪からきよめられるのです。

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうに「すべての罪」から私をきよめてくださるイエス様の血の力を覚え、光の中を歩みます。

8月25日（土）

聖書
聖句

I ヨハネ 1・8～10

もし、わたしたちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しいかたであるから、その罪をゆるし、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。 9節

ですから！何よりもまず一番に、私たちは罪をゆるしていただくことを求めています。病気がなおっても、罪がゆるされていないなら、それはついには永遠の滅びにいたる病気なのです。どうしますか？「自分の罪を告白する」のです。「言いあらわして、お祈りする」のです。キャンプでした人もありますか。牧師先生にお話して罪を告白して、ゆるしきよめてもらいましょう。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架を私の罪の刑罰の身代わりと信じ、罪を告白しますので、ゆるしきよめてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 9・9～13

罪人を招く救い主

わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである。マタイ 9・13
救いが必要とする罪人であると認め、キリストのもとに行く。

目標

8月26日（日）

聖書
聖句

マタイ 9・9～13

わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである。
13節

あなたが家にお招きのお客様たちはどんな方々なのかな？親戚の人たち、仲良しのひととか友だちでしょうね。招かれて行く所もそういう人たちの所でしょう。ところがイエス様が招かれて共に食事をした人々とは、「ローマの手先だ」と、とっても嫌がられていた取税人マタイたちや罪人たちでした。「なぜ？」とまゆをひそめるパリサイ人たちに、「わたしは罪人を招くためにきたのだ」とイエス様は言われました。

いのちの祈り 天のお父様、罪人を招いてくださるイエス様をありがとうございます。私も心から感謝してみもとに行きます。

8月27日（月）

聖書
聖句

マタイ 9・9

「わたしに従ってきなさい」と言われた。すると彼は立ちあがって、イエスに従った。
9節

マタイによる福音書を書いたイエス様のお弟子さんのマタイも、実はもと取税人だったのです。ローマのための税金をユダヤ人たちから取る、しかもたくさん取り立てるので、ユダヤの人々からは嫌われていて寂しい人だったのです。「収税所にすわって」どっぷりつかっていたのですね。ところが、「わたしに従ってきなさい」とのイエス様のみに声に、パッと立ち上がって従いました！新しいマタイ誕生でした。

いのちの祈り 天のお父様、罪人たちの心の悩みをよくわかってくださるイエス様が声をかけてくださり感謝です。従います。

8月28日（火）

聖書
聖句

マタイ 9・10

多くの取税人や罪人たちがきて、イエスや弟子たちと共にその席に着いていた。
10節

イエス様って、何て不思議なお方なんだろう？と思いませんか。ふつう、だれでもが、取税人や罪人たちといっしょにいるのを嫌がるし、近づこうともしないのに…イエス様のみにとは多くの取税人や罪人たちがやってきたのでした。しかも共に食事をしたのです！イエス様とテーブルを囲んだ多くの取税人や罪人たちは、きつととっても幸せだったことでしょう。イエス様は本当に全人類の救い主です。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様は、罪を犯してきた私も愛して招いてくださり、共にいてくださりありがとうございます。

8月29日（水）



マタイ 9・11～13

丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。 12節

パリサイ人たちは、「われわれは清くて正しい。みんなとちがう」といって、取税人や罪人たちを見下げていました。もし私たちが、「私は正しい、ぼくはまちがってない」と言うならパリサイ人と一緒です。そうすると、魂のお医者さんであるイエス様、救い主イエス様は必要でないし、何の関係もなくなってしまう。でもちがいますね。私たちはみんな医者の必要な病人だし、招かれています罪人なのですね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を義人を招くためではなく罪人を招いて救うためにおつかわしくさって感謝いたします。

8月30日（木）



ルカ 19・1～3

この人は取税人のかしらで、金持であった。 2節

ここに登場するのはもうひとりの取税人、しかも取税人のかしら、その名も「ザアカイ」です。エリコという町をイエス様はお通りになったのですが、きっとエリコ中で一番の金持が、このザアカイだったかもしれません。（いいなア、金持か！欲しいもの何でも手に入るよね……と思いますか？）ところが、背も低いし、何しろローマの手先どものかしらでしたから、ひとりも友たちがいなくて寂しい人でした。

いのちの祈り 天のお父様、いくらお金があっても地位があっても、人は幸せではないのだということがよくわかります。

8月31日（金）



ルカ 19・4～7

ザアカイよ、急いで下りてきなさい。きょう、あなたの家に泊まることにしているから。 5節

このザアカイが、エリコを通られるイエス様を見たかったのですが、くやしいことに背は低いし、人々は大嫌いなザアカイの前に立って、わざとのように見えないうにしました。「な一に、あそこから見えるさ」とザアカイはいちく桑の木に登りました。ちょうどそこを通られるところだったのです。じっと見つめるザアカイ。その時です、「ザアカイよ」と呼ばれ、あなたの家に泊まると言われ、びっくり仰天！

いのちの祈り 天のお父様、初めて会うイエス様から名を呼ばれ、お客としてお迎えすることになったザアカイの喜びが伝わります。

9月1日（土）



ルカ 19・8～10

人の子がきたのは、失われたものを尋ね出して救うためである。10節

ころがるようにして木から急いでおりたザアカイは大喜びでイエス様をお迎えしました。人々は、「罪人の家に入ったぞ」とつぶやきました。しかしザアカイのころが変えられたのです！彼は自分の罪をみとめ、悔改め、つぐないを約束しました。そんなザアカイをイエス様が一番お喜びになられました。まさにイエス様は、罪人を招くために来てくださり、神様から遠く離れて失われている人を救うために来てくださいました。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様だけが罪深い人の心を変えることがおできになります。私もイエス様のもとに行きます。

ラリー・デー



聖書
ラリー・デー
暗唱聖句

マタイ 9・35～38
収穫のための働き人
収穫は多いが、働き人が少
ない。マタイ 9・37
福音を必要としている世を知
り、働き人として神に自分を
献げる。

目標

9月2日（日）

聖書
聖句

マタイ 9・35～38
収穫は多いが、働き人が少
ない。 37節

「さあ、ぶどうの収穫だよー、今年は豊作だ
ね」、「お米の収穫の時になったよ」、「わあ、忙
しい！猫の手も借りたいよー！」、あまりに収
穫が多すぎて人の手が足りません。これはうれ
しい悲鳴です。でも、この場面で大切なのは、
ぶどうやお米の収穫のことではないのです。
「イエス様をまだ信じていない人々が多い」の
です。その人たちにイエス様のことを伝える
「働き人が少ない」のです。ラリー・デー（振
起日）に集まった私たちも用いていただきま
しょう。

いのちの祈り 天のお父様、きょうは全員集合のラリー・
デーです。私たちみんながイエス様を伝える働
き人となれますように。

9月3日（月）

聖書
聖句

マタイ 9・35
イエスは、すべての町々村々を巡り
歩いて、諸会堂で教え、御国の福音
を宣べ伝え、あらゆる病氣、あら
ゆるわずらいをおいやしになった。
35節

24時間休みなしのお店とかありますね。でも
人は何人か入れかわりでやっていると
思います。何だかきょうのみ言葉を
読むと、イエス様はおひとりで24
時間休みなしで忙しく忙しく動き
回っておられる「働き人」ですね！
神様のことを教えたり、天国のこ
とや、そこに入るにはどうしたら
いいのかを話したり、病氣や悩みを
かかえているいろんな人たちを助
けてあげたいのです！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の助けや教
えを待つているたくさんの人々が
いてイエス様はフル活動だったの
を知りました。

9月4日（火）

聖書
聖句

マタイ 9・36
また群衆が飼う者のない羊の
ように弱り果てて、倒れているの
を go らんになって、彼らを深くあ
われまれた。 36節

羊や羊飼いをみたことがありますか？もし
羊飼いがいなかったら、羊たちはすぐに迷
い出たり、強い動物にやられてしまったりする
のです。イエス様がまわりの人々を見ると、ち
ょうど羊飼いのいない羊たちのように弱
り果てて倒れているように見えました。「か
わいそう！何とかしてあげな
きゃ…！」とイエス様の心は深いあ
われみの気持ちでいっぱいになりました。
そこからあのフル活動が始まり、働
き続けられたのです。

いのちの祈り 天のお父様、私の心もイエス
様の心のようになり、まことの羊飼
いなるあなたを知らない人々への愛
に満たしてください。

9月5日（水）



マタイ 9・37

そして弟子たちに言われた、
「収穫は多いが、働き人が少ない」。
37節

次にイエス様は何をされたでしょうか。まわりにお弟子さんたちに向かって言われました、「収穫は多いのだよ、見えますか」って。自分のことばかり考えたりしている人には、まわりの弱り果てて倒れている人のことが見えないのですね。「収穫は多い」のです。どうですか？あなたのまわりを見回して、さあ、イエス様のことを知らない人、まだ信じていない人どれくらいいる？「多すぎるよ！」でしょう？

いのちの祈り 天のお父様、ほんとうに「収穫は多い」ということがしっかりわかって見えてきました。福音を伝えさせてください。

9月6日（木）



マタイ 9・37

収穫は多いが、働き人が少ない。
37節

お米の収穫や、ぶどうの収穫のために、農家の人もフル活動です。「今」という時に収穫しなければならない時には、遠くや近くから「働き人」を雇って、助けに来てもらうのですね。イエス様のことを信じて、愛して、まだイエス様のことを知らないでいるお家の人やお友だちや近所の人たちに本気で伝えている「働き人が少ない」とイエス様は言われます。何とか私たちも「働き人」として用いてほしいですね。

いのちの祈り 天のお父様、たしかに、あなたのグッド・ニュースを伝える「働き人が少ない」です。さらに増し加えてください。

9月7日（金）



マタイ 9・38

だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。
38節

でもね、いきなり、「皆さん、イエス様のことを知ってますか？信じましょう！」って言うことはとても勇気のいることだし、「できないよ」と思う子も多いと思います。そこでイエス様は、まずは誰にでも、どんな子どもでもできることを教えてくださっています。「収穫の主に願って」ということは、『お祈りしなさい』ということです。収穫の主である父なる神様に「働き人を送りだしてください」と祈るのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたにお祈りすることなら、私にもできます。これから働き人が送り出されるよう祈ります。

9月8日（土）



マタイ 9・38

だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。
38節

そんなふうにして、「働き人を送り出してください」とお祈りし続けていく中で、もしかして、「あなたもその働き人のひとりとして働いてくれるとうれしいよ」と、神様がおっしゃるかもしれません。神様が言われると、きっとそのようにする力も与えてくださいますから、「あの子に伝えよう、この人を教会にさそおう」って、少しずつ「働き人」として用いられましょう。

いのちの祈り 天のお父様、小さい弱い私ですが、あなたの「働き人」としてどうすればいいか教えてください、用いてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 14・13～21

祝福される献げ物

パンくずの残りを集めると、
十二のかごにいっぱいになった。

マタイ 14・20
所有する物、また自分自身を、
神に献げる。

目標

9月9日（日）

聖書
聖句

マタイ 14・13～21

パンくずの残りを集めると、十
二のかごにいっぱいになった。

20節

そこには、イエス様のお話が聞きたくてやってきていた大勢の人がいました。男の人だけでも五千人！女の人や子どもたちを入れるとい万人はゆうに超えていました。食べ物と言えば、パン五つと魚二ひき。えー?!それじゃどうにもならないでしょ。ところがです。イエス様にお献げしたら、イエス様の感謝のお祈りで、パンと魚は弟子たちの手で配られ、な、なんと！食べこぼしたパンくずが十二のかごいっぱい！

いのちの祈り 天のお父様、どんな小さなわずかなものもイエス様の御手にさし出すと、すばらしく奇跡的に用いられ感謝です。

9月10日（月）

聖書
聖句

マタイ 14・13～14

イエスはこれを聞くと、舟に
乗ってそこを去り、自分ひとりで寂
しい所へ行かれた。 13節

「このこと」というのは、バプテスマのヨハネさんが獄の中で首を切られて死んだということでした。イエス様はとても悲しまれ、ひとり静かに神様にお祈りに行かれたのですね。私たちも心が痛くなる時には神様のところに行って静まりましょう。しかし、人々はイエス様の所にあるあとを追いかけてきました！それほどにもイエス様のお話が聞きたかったのです。さあ、私たちは？教会学校でしっかり聞こうね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のあとを追いかけてまでお話を聞きにきた人々のように、私もしっかり聞きたいです。

9月11日（火）

聖書
聖句

マタイ 14・15～17

わたしたちはここに、パン五つ
と魚二ひきしか持っていません。 17節

夕方になり、人々の心と魂は、イエス様のお話で満たされましたが、お腹がすいてきました！弟子たちが「もう解散させて、それぞれ食べ物を買に行かせましょう」と言うと、「いや、あなたがたの手で食物をやりなさい」と言われます。弟子たちは、「エーッ！イエス様、ここにはパン五つと魚二ひきしかありません」と言います。実はそれは、小さな少年の、その日のお弁当でした（ヨハネ6・9）どうなる！？

いのちの祈り 天のお父様、その時の弟子たちや少年のよう、私も小さい物しか持っていません。でもお献げしていきます。

9月12日（水）



マタイ 14・18～19

イエスは言われた、「それをここに持って来なさい。」 18節

イエス様が、「それをここに持ってきなさい」と言われます。あなただったらどうする？「いやだ！これはね、ボクのお弁当なんだから、ダメ！」って言う？この子どもも弟子たちも、「ハイ」と素直にイエス様にさし出したのです。「草の上にすわりなさい」と人々に言い、パンと魚を手のひらにのせ、天を仰いで祝福し、パンをさいて弟子たちに渡すと、弟子たちはそれを人々に与えました。どんどんどんどんとね！

いの祈り 天のお父様、何という心 暖まるイエス様の愛のみわざでしょう！イエス様の手にのると祝福され用いられるのですね。

9月13日（木）



マタイ 14・19～21

みんなの者は食べて満腹した。 20節

「みんなの者」って、何人いましたっけ？男の人だけでも五千人です。女の人や子どもを入れると一万人を超えた人たちです。そんな大群衆でしたよ。そのみんなの者が「食べて満腹した」のでした!! たったの五つのパンと、たったの二ひきの魚ですよ！信じられな一い！と思うようなすごい奇跡のみわざでした。そういうわけでこの人々は、イエス様のお話で心も満足、イエス様の奇跡でお腹もいっぱいになりました。

いの祈り 天のお父様、イエス様と共にいることは素晴らしいことです。心もお腹も満たされます。ずーっと一緒にいます。

9月14日（金）



マタイ 14・20～21

食べた者は、女と子供とを除いて、おおよそ五千人であった。 21節

考えれば考えるほど、なんてスゴイ奇跡だと思いませんか！きっと、一番オドロイテ、カンゲキの頂点にいたのは、そのお弁当をイエス様におささげた少年だったにちがいありませんね！何しろ、そんな大勢の人々に、あの恥ずかしいような大麦のパン五つと小さな魚二ひきとが届けられて、名前も顔も全然知らないような人たちがみんな『満足』するほど食べたのですから。小さい私も小さい物もお献げしたいね！

いの祈り 天のお父様、イエス様の手にお献げする時、その祝福は知らない人々にさえ届くなんて、本当に嬉しいです。

9月15日（土）



マタイ 14・20～21

パンくずの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになった。 20節

朝、パンを食べている人！今頃はだんだんご飯よりパンを食べる人が増えているのかな？パンくずとありますがパン切れともあります。配り残り分もきっとまだあったのでしょうか。それらの残りを集めると、十二のかごにいっぱいになりました。へえ、こんな小さなパンくず、パン切れが…？実は十二人のお弟子さんが一かごずつ持ったとして、明日の食べ物までイエス様が用意してくださったというわけです！

いの祈り 天のお父様、イエス様の奇跡はほんとに「至れり、尽くせり」です。心から喜んで私も持物も皆お献げします。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 14・22～33

逆風の中でキリストを見る
しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない。

マタイ 14・27

目標

人生の逆風の中でもキリストを見上げ、信仰を持って前進する。

9月16日（日）

聖書
聖句

マタイ 14・22～33

しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない。 27節

自転車に乗れますか？追い風だと、後から風が背中を押してくれて、スイスイとよく走れるけど、逆風だと大変ですよ。全然進まないばかりか、もうよろけて転げそうになります。この弟子たちは海の上の舟が乗り物でした。逆風でこぎ悩んでいる時、なんと海の上を歩いて来られるイエス様を見たのです。「ギャー、幽霊だあ！」って叫ぶ弟子たちは、「わたしだ、恐がるな」とのイエス様のお言葉に安心しました。

（いのちの祈り） 天のお父様、困った時、つらい時、苦しい時、「わたしだ！」と言ってください共にいてくださるイエス様を見上げます。

9月17日（月）

聖書
聖句

マタイ 14・22～23

祈るためひそかに山に登られた。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。 23節

一万人数人ほどの人を「さようなら」と言って、お家に帰らせるのって、大変だったでしょうね。それをイエス様がされたのです。しかもその間に、弟子たちを舟に乗り込ませて、向こう岸へ先に行くようにさせました。イエス様は、どうされたでしょう？お祈りのために山に登られ、夕方になってもまだそこにひとりおられて、父なる神様にお祈りをされました。実はイエス様の愛の奇跡の力は、父なる神様から来ているのです。

（いのちの祈り） 天のお父様、イエス様はあなたとお交わりを愛されただけでなく、必要とされていたことがわかりました。

9月18日（火）

聖書
聖句

マタイ 14・24～25

イエスは夜明けの四時ごろ、海の上を歩いて彼らの方へ行かれた。 25節

弟子たちの舟は…？逆風と波に悩まされて、木の葉のように揺れています。イエス様は、山の上からちゃんとその様子を見ていてくださいました。そして、夜明けの四時頃、一番暗い時に、海の上を歩いて、弟子たちの乗っている舟の方に行かれました。わたしが困っているのも、苦しんでいるのも、悩んでいるのもちゃんとご存知で、海の波のような困難、悩みを踏みつけて近づいてくださるのがイエス様です。

（いのちの祈り） 天のお父様、誰にも知られなくてもイエス様はちゃんと私の悩みを知って近づいてくださり、感謝します。

9月19日（水）

聖書
聖句

マタイ 14・26

弟子たちは、イエスが海の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと言っておじ惑い、恐怖のあまり叫び声をあげた。 26節

逆風はビュービュー吹きつけるし、波はドドーツ、バシャーンって舟の中にも入ってきます。それだけで、さすがの漁師だった弟子たちも、青い顔だったでしょう。おまけに、海の上を歩いて近づいてくる影が見えた時、もう彼らの恐れは頂点にきちゃって、叫び声をあげてしまいました、「ギャー、幽霊だ！」って。大の男たちだって、これほど恐い思いをしたことはなかったかも。その影はイエス様なのにな。

いのちの祈り 天のお父様、恐ろしい思いをする時、そこにいてくださるイエス様をしっかりと見ることができるよう助けてください。

9月20日（木）

聖書
聖句

マタイ 14・27

しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない。 27節

さすがにイエス様です。弟子たちの叫び声を聞くやいなや、「すぐに」彼らに声をかけて言われました、「しっかりするのだ、わたしである。恐れることはない」と。何て力強い、頼りになるイエス様のお言葉でしょう！私たちにも、イエス様はいつでも、どんな時でも、こういうふうに声をかけていてくださるのです。「あっ、イエス様だ」とわかったら、もう恐れなくてもいいのです。しっかりと立つことができますね。

いのちの祈り 天のお父様、これ以上、心が励まされ、安心と力が与えられるみ言葉はありません。共にいてくださるイエス様を感謝します。

9月21日（金）

聖書
聖句

マタイ 14・28～29

ペテロは舟からおり、水の上を歩いてイエスのところへ行った。 29節

「なあ～んだ、イエス様、あなたでしたか」と、弟子たちはどんなにか心がホッと、嬉しくなったにちがいありません。ペテロがどうしたかを見ればよくわかります。「主よ、あなたでしたか。では、わたしに命じて、水の上を渡してみもとに行かせてください」と言うと、「おいでなさい」とのイエス様のお言葉！そこでなんとペテロは水の上を歩いてイエス様のところへ行ったのでした。ホントウニ！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様と同じように水の上を歩いてイエス様のみもとに行つたペテロの大胆と勇氣はスゴイです。

9月22日（土）

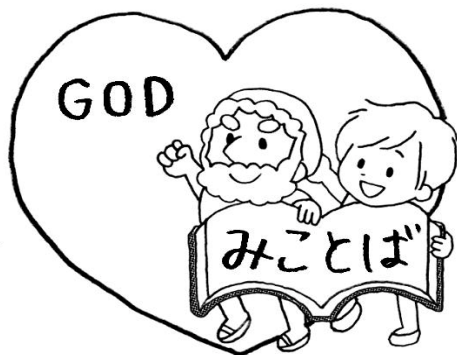
聖書
聖句

マタイ 14・30～33

ふたりが舟に乗り込むと、風はやんでしまった。 32節

ところが、です。次の瞬間、ペテロはイエス様から目を離して、風を見てしまいました。するとそのとたんに、恐ろしくなってしまう、しかもグクグクおぼれかけたのでした。ペテロは叫びました、「主よ、お助けください」と。ここでもイエス様は「すぐに」手を伸ばし、ペテロをつかまえて言われました、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」ふたりが舟に乗り込んでいくと風はやんでしまいました。さすがですね。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を私の心にお迎えしていさえすれば、どんなつらい時、苦しい時も平安でいられます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 1・1～9

戦いへの備え
強く、また雄々しくあれ。

ヨシュア 1・6

目標

信仰の戦いのために、み言葉
による備えをする。

9月23日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～9

強く、また雄々しくあれ。 6節

「ヨーシ！ガンバルゾー！」と思うことが
ありますか？どんな時？「お腹いっぱいおいしい
ものを食べたし」とか「ボクがキャプテンに選ば
れたんだから」とかいう時かな？ここのヨシュ
アさんの場合はちょっと、いえ、かなりちがっ
ているのです。それはまず、神様からの力づけ
でした。神様がヨシュアさんを選んで、共にい
るから、み言葉を守り、従って、戦いに勝ち、
民を導いていくんだよと言われたからでした。

祈り 天のお父様、小さい私たちにも毎日いろん
なことがあります。戦いです。あなたによって強く
雄々しく歩めますように。

9月24日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 1・1～2

主のしもべモーセが死んだ後、主は
モーセの従者、ヌンの子ヨシュアに
言われた。 1節

神様の偉大なしもべモーセも死んでいなくな
りました。二百万人もの人々をあのエジプト
脱出から、四十年の恐ろしい荒野の旅の間、
そして今日の前に広がる約束の地カナンの入口
にまでみごとに導いてきたモーセが目の前か
ら消えたのですから、民はとっても不安だった
でしょう。しかし、モーセにつき従ってきたヨ
シュアを神様はお選びになり、モーセのあと民
を導くために立てて、大いに励まされたのでし
た。

祈り 天のお父様、「あとを継ぐ人」の大切さをおも
います。小さい私たちも信仰の先輩たちにしっ
かり続いていきます。

9月25日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 1・3～4

あなたがたが、足の裏で踏む所
はみな、わたしがモーセに約束し
たように、あなたがたに与えるで
あろう。 3節

「約束、ね！ゆびきりげんまん」とやっても
なかなか守れないのが私たちですね。でも神様
はちがいます。一度お約束をしてくださったら、
必ず、きっと、絶対に、何がどうなっても、きつ
ちりとお約束を守り、果たしてくださるお方な
のです！「わたしがモーセに約束したように」
とある通りです。ヨシュアと民が「足の裏で踏む
所はみな」あなたがたに与えると言ってくださ
います。何と心強いことでしょうか。

祈り 天のお父様、先にモーセと約束されたこと
を受け継いだ者たちの上にも果たしてくださる
ことを知り感謝です。

9月26日（水）

聖書
聖句

ヨシュア 1・5

あなたが生きながらえる日の
間、あなたに当たることのでき
る者は、ひとりもないであろう。
5節

これはまたまた、何という大胆なお約束では
ありませんか！ヨシュアさんが生きていた
間、どんな戦いがあるとも、ヨシュアさんを打ち
負かしてしまう人は誰ひとりありませんという
約束です。なぜなら、ヨシュアさんが目で見
てきたとおり、あのモーセと共にいたように、あ
なたと共にいて、決して見放すことも見捨てる
こともしないからと言われます。あのモーセと
共におられた神様が一緒ならきっと大丈夫！

いのちの祈り 天のお父様、ヨシュアがいつもモーセのそ
ばにいてあなたのみわざを見てきていたことは
とても良いことでした。

9月27日（木）

聖書
聖句

ヨシュア 1・6～7

それはすべてあなたが行くところ
で、勝利を得るためである。
7節

ヨシュアさんの務め、それは神様が先祖たち
に与えると誓ったその土地をちゃんと民に得さ
せることでした。だから、「強く、また雄々しく
あれ」と励まされます。なぜならその務めはと
ても重いものですから。しかし、それを成しと
げる秘訣があります。モーセが命令として与え
た律法を全部守って、右にも左にも曲がらない
ことです。それで勝利です。つまりVサインで
すよ！毎日み言葉に従って進みましょう。

いのちの祈り 天のお父様、み言葉を毎日読み、心に覚え、
力を頂いて、いろんな事が起こる中も勝ち進
めることを感謝します。

9月28日（金）

聖書
聖句

ヨシュア 1・8

そうするならば、あなたの道は
栄え、あなたは勝利を得るであ
ろう。
8節

「うーん、本当に幸せだな、祝福されてる
な、神様、ありがとうございます」と思う日々
がたくさんあるといいですね。いえ、そういう日
が毎日だと、どんなにいいでしょう。そのため
にはきょうのみ言葉にあるように、聖書のみ
言葉を口から離さない、ということは、暗唱す
ること！そして、昼も夜もそのみ言葉を思うこ
と、さらにはそのみ言葉のとおりを守って行く
ことだということです。さあ、実行してみよう！

いのちの祈り 天のお父様、本当の幸せと勝利の秘訣であ
るみ言葉をくださって心より感謝します。守り
行かせてください。

9月29日（土）

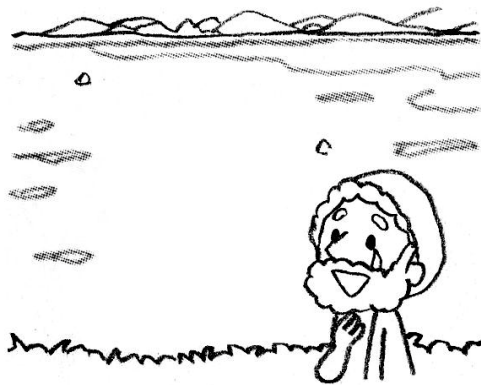
聖書
聖句

ヨシュア 1・9

あなたの神、主が共におられる
ゆえ、恐れてはならない、おのの
いてはならない。
9節

『強く、また雄々しくあれ』とのみ言葉は、
この1～9節の中に3回もあります（6～7、
9）。これは神様からの命令なのですね。命令さ
れる神様は、またその命令に従える力もくだ
さるのです。なぜなら、主なる神様が共にいて
くださるので「強く、雄々しくあれ」るのです。
モーセと共にいた神様、ヨシュアと共にいた
神様が、きょうもこれから毎日、どこへ行く
にも、私たち一人ひとりと共にいてくださいま
す。ハレルヤ！

いのちの祈り 天のお父様、力強いお約束があるので、も
う恐れません。もうおののいたりふるえたりし
ません。感謝です。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨシュア 3・1~17

約束の地に入る

ついに民はみなヨルダンを渡り終った。ヨシュア 3・17

目標

神が約束し導かれたところに、信仰によって進み入る。

9月30日(日)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1~17

ついに民はみなヨルダンを渡り終った。17節

川を渡るにはどうする？そこに橋があれば橋を通ります。舟かボートがあれば乗って渡ります。では、何もしなければ、泳いで渡りますか？浅い流れなら、歩いて渡るでしょう。でもこの場面で、イスラエルの民は、相当大勢の人たちで、お年寄りもいれば、赤ちゃんもいる、泳げない人もいるということで、一体どうやってヨルダン川を渡って約束の地に入ったのでしょうか？『信仰によって』です。ついに民はみなヨルダンを渡り終ったのでした！

いのり 天のお父様、イスラエルの民に信仰を与えて、約束の地に導き入れられたあなたを賛美します！その様子を学ばせてください。

10月1日(月)

聖書
聖句

ヨシュア 3・1

ヨシュアは朝早く起き、イスラエルの民とひとびととともにシッテムを出立して、ヨルダンに行き、それを渡らずに、そこに宿った。1節

あなたは夜型？夜になるとすごく元気になって、いつまでも起きていられる!?あるいは朝型!?夜になるにつれて眠くなって、でも朝は早く起きることができ、シャンとしますよというタイプ？神様の大切なお仕事をした人たちはいつも「朝早く起き」とありますよ。大切な一日を朝早くから「きよい日」としたのですね。日曜日は朝早く起きて教会で神様を礼拝いたしましょう！

いのり 天のお父様、あなたからいただく一日一日はとても大切です。ヨシュアのように朝早く起きて過ごしたいです。

10月2日(火)

聖書
聖句

ヨシュア 3・2~4

あなたがたは前にこの道をおったことがないからである。4節

さて、「信仰によって」ということは一体どのようなしてだったのでしょうか？つかさたちは民に告げました、「主の契約の箱をレビびとたちがかきあげる時、立ち上がって彼らに従いなさい。そうすれば行く道がわかります。その道は前に通ったことのない道ですから。ただし900メートルぐらい離れてついていくのですよ」と。今までとおったことのない道に行くのはなんだか楽しみですね。信仰によって進みましたよ。

いのり 天のお父様、民はほんとに大勢でしたが、つかさたちの言うことをよく聞いて、はじめての道も進んだことを知りました。

10月3日（水）

聖書
聖句

ヨシュア 3・5～6

あなたがたは身を清めなさい。
あす、主があなたがたのうちに
不思議を行われるからである。
5節

ヨシュアさんには、神様がなさろうとしておられた不思議なみわざがわかっておられたのでしょね。だから、「身を清めなさい」とヨシュアは民に言いました。おそれの心をもって、身も心も清くして、神様の不思議なみわざを見せていただくように、ということでした。きっと民はみんな、「神様がしてくださる不思議って、どんなことだろう？」とドキドキワクワクしながら、身も心も清く備えたのでしょう。

いのり 天のお父様、あなたは本当にいろいろな不思議なことをしてくださるお方です。ますますおそれ敬っていきます。

10月4日（木）

聖書
聖句

ヨシュア 3・7～13

こうしてわたしがモーセと共に
いたように、あなたとともにいる
ことを彼らに知らせるであろう。
7節

「ヨシュアさんは本当にモーセの次に神様が選ばれた人だ、本当に神様がヨシュアさんと共におられる！」と、民の目にもわかるようにしますと、神様はヨシュアに言われて、作戦を教えられます。契約の箱をかく祭司たちの足がヨルダン川の水ぎわに行くときすぐ水の中に踏みどまり、すると上から流れくだる川の水はとどめられて、うず高くなります！これは本当に民が一度も通ったことのない道でした！

いのり 天のお父様、あなたは選んだヨシュアを信頼し、また民にも尊い器として示されました。あなたが共におられることがしるしです。

10月5日（金）

聖書
聖句

ヨシュア 3・14～16

塩の海の方に流れくだる水は
全くせきとめられたので、民は
エリコに向かって渡った。16節

祭司たちや民たちは、いよいよヨルダン川に近づきました。刈入れの間中、水が岸一面にあふれているヨルダン川でした。四月頃のことで、ちょうど水がいっぱいの時でした。みんなは「オオーッ！」ってきつと思ったことでしょうね。しかし、祭司たちの足が水ぎわにひたると、どうでしょう!!上から流れくだる水がとどまるではありませんか！何と、何と、民は「信仰によって」かわいた地を渡りました。

いのり 天のお父様、あなたのみ言葉に従う時、偉大なみわざを見ます。今でも変わらないことを信じて期待します。

10月6日（土）

聖書
聖句

ヨシュア 3・17

主の契約の箱をかく祭司たちは、
ヨルダンの中のかわいた地に
立っていた。17節

「えーっ！大丈夫かな～？水がドドーって、また流れてこないのかな～？」と、だれも思わなかったのです。エライ!!そんな堅い信仰を私たちも持ちたいものですね。祭司たちは言われたとおりにヨルダン川の中のかわいた地にずーっと立っていました。民が（…さて、何十万人、何百万人いたのかな？）みーんな渡り切るまでね。「そしてついに民はみなヨルダンを渡り終った」、渡り切ったのです！ハレルヤー！

いのり 天のお父様、何という感激の瞬間だったことでしょう。約束の天の御国に行くまであなたを強く信じ続けます。